

三条教区通信

第89号

発行日 2014年11月10日
発行者 三条教務所長 池守章
発行所 真宗大谷派三条教務所
〒955-0071 三条市本町2丁目1-57
E-mail: sanjo@higashihonganji.or.jp
ホームページ: www.gobosama.net

三条教区

今月の法語

〔真宗教団連合『法語カレンダー』より〕

しゅじょう

衆生に

かけられた大悲は

無倦である

ひろせ たかし
廣瀬 梶

Great Compassion for sentient beings
is untiring.

Hirose Takashi

御遠忌実行委員会のお知らせ

三条教区・三条別院宗祖親鸞聖人七百五十回御遠忌法要
2015年5月19日から24日まで厳修
御遠忌法要まで あと190日

法要部会

10月31日をもちまして各組からの団体参拝お申し込みを頂きました。正副組長様をはじめ、組内役員の方々、住職様にご協力を頂き大変有り難うございました。今後、参拝人数の集計を行ったうえで、参拝受入計画について綿密に点検を行い、12月に開催されます正副組長連絡協議会においてご相談をさせていただき、皆様を御遠忌法要にお迎えする準備を整えてまいります。

御遠忌法要に向けて、どうか今後とも皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

教化部会

親鸞聖人讃仰講演会いよいよ開催

親鸞聖人讃仰講演会の第1回目が11月20日(木)13時30分より開催されます。

親鸞聖人讃仰講演会は、2014年11月から2015年4月までの間に全6回開催いたしますが、今回は、2014年4月の教区同朋大会にてご法話いただきました本多雅人先生(東京教区東京2組蓮光寺)を再びお招きし、「安心して迷いながら生きられる道」という講題でお話頂きます。

みなさまのご参加をお待ちしております。

整備部会

三条別院整備工事完了

去る10月25日、教区御遠忌記念事業であります真宗大谷派三条別院本堂等の御修復工事が完了し、引渡し調印式、並びに旧御堂への御本尊還座式が執り行われました。



完成引渡し調印式では、教区御遠忌実行委員会の野成一別院整備部会主査、土田隆教区門徒会長、半藤仙弥教区門徒会副会長のお立会いのもと、各整備業者から工事完了の報告を受け、池守章三条別院輪番により、引き渡し書類に調印がなされました。(写真上)

調印式に引き続き、輪番をはじめ別院・教務所員により、完成がなされた旧御堂への御本尊還座式が行われ、出席者とともに正信偈同朋奉讃のお勤め後、輪番から関係者に対し、その尽力に対する謝辞が述べられ、工事完了宣言がなされました。(写真下)



工事完了引渡し、旧御堂御本尊還座の後、11月3日には、別院お取り越し報恩講をお迎えするにあたり、この御修復期間中、仮御堂において崇敬してまいりました御本尊を御修復の完了した本堂へ御移徙する「三条別院御本尊還座式」を執り行いました。その後は、例年恒例の「ごぼさま寄席」、「松葉幼稚園報恩講」には、無事お還りいただいた御

本尊のもと、御修復の完了した明るく暖かい別院本堂に、多くの方にお集まりいただくことができました。(写真下)



三条別院御本尊還座式において挨拶する楠雅丸御遠忌実行委員長

また、11月5日には三条別院本堂等御修復完了奉告法要がお取り越し報恩講お待ち受け音楽法要と兼ねて執り行われました。法要後には、各整備業者(高島設計様・榎永井仁助商店様・(有)廣川佛壇店様)に対して感謝状及び記念品の贈呈が行われ、約1年足らずの工期において、無事に、かつ誠心誠意尽力くださったことに謝意を表し、参詣者と共に完成を慶びました。(写真下)



左:池守章輪番、右:高島永国設計管理士

広報部会

御遠忌通信第20号発行!

このたびは、親鸞聖人讃仰講演会、宗祖御巡行(佐渡組主催)の様子、ほうおん!の様子をお知らせします。本号に同梱していますので、ぜひご覧ください。また、是非ともご寺院教会で多くの方に配布いただきたく、ご協力をお願いします。追加部数を送料無料で送りいたしますので教務所までご連絡ください。

つるがやの別院和スイーツ「越佐の国 なむの里」先行発売!



御遠忌グッズとともに先行販売される「越佐の国 なむの里」(中央下)

三条の老舗菓子店「つるがや」さんによる三条別院「和スイーツ」が完成しました。越後の緑豊かな大地を抹茶の生地で作って、親鸞聖人が蒔かれた布教の種を聖人が好まれた小豆で表したお菓子です。このたびの報恩講で先行販売し、販売数はなんと250箱を越えました。今後も開かれた別院を目指し、地域と共に歩んでいきます。

三条教区災害対策委員会のお知らせ

皆様にご協力いただいております三条教区独自の東日本大震災救援金は、2014年11月10日現在、総額14,159,655円となりました。

これまでの救援金寄託状況及び復興支援活動資金の使用状況は以下のとおりです。

2,000,000円 東京教区 2012年2月14日

10,000,000円 仙台教区 2012年4月13日

1,170,237円 東日本大震災復興支援活動資金

ご報告いたしますとともに、さらなるご協力をお願い申し上げます。

巻末に災害支援実行委員会の活動を報告します。→

研修会のご案内

■ 三条教区秋安居

開催案内同封

- ◆日 時 2014年12月2日(火)・3日(水)
- ◆場 所 教区同朋会館
- ◆講 師 廣瀬惺氏(本年度安居本講師)
- ◆内 容 「顕浄土真実行文類」講讀
- ◆テキスト 『2014年度 安居講録』
¥4,000-(教務所にて購入できます)

◆対 象 どなたでも

◆参加費 500円

◆問合せ 三条教務所(担当:西山)

※事前学習会(どなたでも。任意参加)

日 時 2014年11月21日(金)14時から

場 所 教区同朋会館

内 容 安居講本輪読を中心に学習

持ち物 真宗聖典、『2014年度 安居講録』

■ 教区坊守研修会

開催案内同封

◆日 時 2014年12月12日(金)10:00~15:00

◆場 所 教区同朋会館

◆講 師 藤原千佳子氏(金沢教区浄秀寺)

◆テーマ 現代(いま)を生きる

◆問合せ 三条教務所(担当:宮野)

教務所からのお知らせ

◎ ラジオ放送「東本願寺の時間」について

宗派が1951年11月よりラジオ伝道として放送している「東本願寺の時間」について、吉運堂様のご提供により、新潟県でもお聞きいただけます。

○講 師 10/5~11/15 茨田通俊(大阪府 願光寺)
11/16~12/27 五辻文昭(岐阜県 本浄寺)

○テーマ 「現代と親鸞」

○放送局 BSN新潟放送 1116 kHz AM

- *新潟県全域をカバー
- ・小出エリア 1026KHz
- ・中越エリア 1062KHz
- ・下越エリア 1116KHz
- ・塩沢エリア 1485KHz
- ・上越エリア 1530KHz

○時 間 毎週金曜日午前 5:00～5:10

○提 供 吉運堂 様

◎ 教務所事務休暇について

三条別院御本尊還座式及びお取り越し報恩講のための廃休に伴う代休により、11月14日(金)並びに12月22日(月)につきまして、教務所事務休暇とさせていただきます。ご不便をおかけし申し訳ありませんが何とぞご容赦くださいますようお願いいたします。

◎ 教区行事予定表

2014年	
11/13(木)13:30	教区坊守会役員会
11/14(金)	教務所事務休暇
11/15(土)14:00	真宗学院
11/17(月)14:00	大谷保育協会三条支部研究部会
11/18(火)14:00	(遠)助音研修会
11/20(木)13:00	(遠)親鸞聖人讃仰講演会①(本多雅人氏)
11/21(金)14:00	(遠)広報部会 秋安居事前学習会
11/25(火)14:00	(遠)法要部会
11/26(水)14:00	企画委員会
11/27(木)15:00	御坊市スタッフ会議
11/29(土)14:00	真宗学院
12/2(火)	～3(水) 秋安居
12/4(水) 14:00	(遠)助音研修会 (遠)募財部会 教化センター
12/6(土) 14:00	真宗学院
12/8(月) 14:00	(遠)実行委員会
12/9(火) 16:00	青少年関係研修会3部門会議
12/11(木)14:00	教区門徒会(臨時会) 教化センター
12/12(金)10:00 15:00	教区坊守研修会 推進員教習部門会議
12/13(土)14:00	真宗学院
12/15(月)14:00	教区会臨時会
12/16(火)14:00	研修部会
12/17(水)15:00	児童夏の集い執行部会議
12/18(木)13:00	(遠)親鸞聖人讃仰講演会②(中下大樹氏)
12/19(金)14:00	(遠)正副組長連絡協議会
12/20(土)14:00	真宗学院
12/22(月)	教務所事務休暇
12/24(水)14:00	企画委員会
12/26(金)	教務所事務納め
2015年	
1/7(水)	教務所事務初め
1/21(水) 14:00	企画委員会
1/22(木) 14:00	(遠)助音研修会
1/24(土) 13:30	(遠)親鸞聖人讃仰講演会③(祖父江佳乃氏)
2/7(土) 11:00	(遠)「いのちの駒札」TV番組放送日

2/25(水) 14:00	企画委員会
2/26(木) 14:00	(遠)助音研修会
3/4(水) 13:30	(遠)親鸞聖人讃仰講演会④(太田浩史氏)
3/10(火) 14:00	(遠)助音研修会
3/24(火) 13:30	(遠)親鸞聖人讃仰講演会⑤(玉光順正氏)
3/25(水) 14:00	企画委員会
4/4(土)	～5(日) (遠)子ども御遠忌
4/7(火) 14:00	(遠)助音研修会
4/11(土) 13:30	(遠)親鸞聖人讃仰講演会⑥(三木彰円氏)
4/22(水) 14:00	企画委員会
5/19(火)	～24(日)教区別院宗祖御遠忌法要

(遠)は三条教区宗祖親鸞聖人七百五十回御遠忌実行委員会関連であることを示します。

行事日程(会場)重複防止の便宜上、教区・別院主催以外の行事が一部含まれています。また、日程は変更される場合があります。

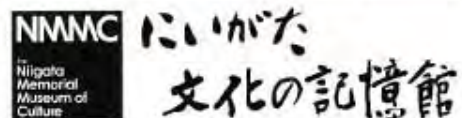
新潟親鸞学会からのお知らせ

「にいがた文化の記憶館」へ剰余金を寄贈

昨年6月4日に新潟日報メディアシップ5Fに開設された「にいがた文化の記憶館」は、新潟県にゆかりのある文化人を一堂に紹介するとともに、県内の顕彰施設や団体との連携を視野に入れ、それらのインフォメーションセンターとしての機能を目指している施設です。



館内のご案内



記憶館から県内各地へ 加と歴史の散歩へご案内します

※開館時間：9時～17時(入館無料)

ここでも、井上円了師は紹介されているのに、曾我量深師・金子大栄師など真宗教学上の碩学は取り上げられていません。

このような宗教抜きの文化観に警鐘を打つため、新潟親鸞学会では「なむの大地」展の剰余金 50 万円を「文化の記憶館」へ 10 月 14 日に寄贈し、代わりに曾我・金子両師ほか近代仏教学者の顕彰につとめるよう申し入れをしました。

館側は寄贈を歓迎するとともに、当会の要望に対し、学芸員の調査研究を経て、いずれ宗教カテゴリーのコーナーを設置したいと応じていました。

以上の交渉が、県内外の人々の教養に一石を投じることになることを期待するものです。

【新潟親鸞学会入会の申し込み・お問い合わせ】

新潟親鸞学会事務局 担当 富沢慶栄
〒951-8061 新潟市中央区西堀通二番町 783 超願寺内
☎025-222-2820 FAX 025-222-2830
Eメール choganji@nifty.com
新潟親鸞学会デスク(ブログ):
<http://niigata-shinran.cocolog-nifty.com/blog/>

①頁からの続き

→ ■ 災害支援実行委員会の活動報告



<第3回「東北三教区子どものつどい」報告>

災害支援実行委員会副委員長
楠 無量 (第 18 組西源寺)

3回目となる「東北こどもの集い」が9月 13 日～15 日に岩手県八幡平にて開催されました。

三条教区からは、養豚をしている同級生に肉を頼んで「炭火焼き豚ロース」をメインにやらせていただきました。

被災地、とりわけ福島県内の方々は、食料品の放射能汚染を心配されておられるだろうし、少し前に中国の期限肉問題もありました。そういうことから、安心して食べられる物を提供したいと考えたからです。



参加する親子に「白根パークを紹介する三条教区メンバー

幸い日程中は天候にも恵まれ、子供たちも元気に走り回り、肉の方も好評でした。親子での参加も目立ち、ここは放射能の心配をしなくていいとおっしゃっていたお母さんが印象的でした。

今年は 300 人の定員が募集初日で満員になったとの事ですので、まだ大勢の参加希望者がおられるのだと感じました。

来年も開催されるとの事ですので、是非ともご協力お願いします。

暉 彩 (第 19 組傳誓寺)

去年は仕込みの時間がかかるメニューでブースを出したので、屋台的には大成功だったと思いますが、今年は仕込みが少しでよかった分、フリーな時間が多くて遊びブースに顔を出したりできる余裕がありました。

印象に残ったエピソードを2つだけ…

敷地内の栗の木から、栗を大量に捨ってくる子がいました。焼いてほしいというので、アルミホイルに包んで焼きました。何度も捨ってくるので、お母さんは、

「また捨ってきたの？好きだねー。」

「二本松では拾えないからね。」

と、ボソッと最後に一言。

あと、会場には、毎年あったのか分かりませんが、一面に特設の砂場が作ってありました。

近くに姉弟(?)がいました。

姉「砂場はダメだよ。」

「そこは終わりだって。」

いつも周りの大人にそう言われているのでしょうか…

砂場＝ダメではないけれど、線量が高いから近づくなと言われているんですね。

そこでハッとしました。ここに参加している方々の日常を忘れてしまっていたことに気がきました。そういう状況でもそこで生きていかなければいけない人たちがいることを遠い存在のこのように忘れてしまっていました。

放射線の見えない恐ろしさから、いかにわが子を守るか格闘されている親の姿、それを知ってか知らずか、その制限のある生活を、もしかしたら、当たり前のように送っている子どもたち…。

八幡平で過ごすほんの短い時間でもなんの制限もないのびのびした生活を送ってほしいけど、私の日々の生活からは考えられない「日常」に戻っていかねばならないんだと思うと、悲しいですね。

2つの言葉がどうしても頭から離れません。



釋 淳 宏 (第 17 組真敬寺)

女のひとは髪を切ったとか前髪を変えたとか、たくさんのひとに気づいてもらいたいらしいですね。たくさんのひとで

なくても、大切に想っているひとには気づいてもらいたいらしいです。

今回の東北三教区こどもの集いも3回目、わたしも2回目の参加となりました。開催会場の「プータロ」もマイナーチェンジがなされて、それは工夫であったり、トラブル回避であったり、建物の老朽化に伴うものであったり、いろいろと変化していました。

もちろん、参加される福島のひとたちを始め、執行部、他団体のひとたちもそれぞれに変わっていました。それがこの3年半という年月での成長なのか経験なのか疲弊なのか、それぞれの1282日を感じました。

特にこどもたちの記憶力は凄まじく、わたしが顔を覚えていないようなこどもから話しかけてこられた時には焦りました。また、ちょっとの間に背がグンと伸びてドキッとしたこどももいました。あんなに可愛いげだったのに・・。

ちょっとの変化に気づくには、やっぱり年にいっぺんでも2へんでも顔を合わせなきゃだめですね。

福島のひとたちがたちあげて形にしてきたこの空間は、ただの居場所とか拠りかたでなく、とても特別な空気感をわたしにも与えてくれています。



小柳円晃（第19組明願寺）

とても刺激を受けた3日間だった。

代表の佐々木さんは八幡平を「親も子も、皆が笑える場所」だと締めくくった。

その言葉通り、3日間、八幡平には笑い声があふれていた。その楽しみ方は千差万別。親も子、そしてスタッフも各々の役割を果たし、全力で楽しんでいた。

佐々木さんは最後に「一年に一度でも自分が本当に楽しめる場所があるというのは大きな力になる。だからこそ来年もこどもの集いを開きたい」と仰っていた。

私も微力ながら協力したい。そして来年も最高に楽しい3日間を過ごしたいと思う。そのためにもまず日々の生活を精進していきたい。

日野健太郎（第13組浄福寺）

東日本大震災から3年半が経ち、初めて被災地岩手県

を訪ねました。全国の各教区からチャンポンや明石焼きなどの料理が提供され（三条教区は白根パークを焼きました！）、子どもたちも様々なゲームやイベントなどで楽しんでいる様子が印象的でした。しかし以前からボランティアに参加している方に話を聞くと「やっと笑顔が増えてきた。」とのこと。震災からもう3年ではなく、「まだ3年」。これからも被災地への手助けの必要性を感じさせられました。



菅谷太希（教務所主計）

9月13～15日、八幡平森と温泉のコテージプータロを会場に開催された東北3教区こどもの集いでは、三条教区ボランティアスタッフの皆様と参加してきました。

三条教区は白根パークを炭火で焼いて配るブースを出しましたが、二本松からの男の子が拾った栗を「焼いて！」と持ってきました。破裂するといけいけないので、包丁で切れ込みを入れて、アルミで包み、炭火の中で焼いてあげると、「おいしい」と食べていました。二本松では、拾った栗を食べることはできないそうです。

夜の居酒屋ブースでお話させていただいた保護者の方は、震災から3年が経った今、保養事業等が様々な場所で行われている事に対し、「気にかけてくれていることが嬉しい」と語っておられました。

それぞれの生活の場所で、それぞれ悩みを抱えて生活をしている方々があります。そこでは一体何が本当に求められているのか、どのようなことに目を向けなければいけないのかといったことは、実際に会って語り合う中でこそ見えてくるものだと思います。

人と人とのつながりの大切さを実感した3日間でした。





○ ご 案 内 ○

三条教区・三条別院宗祖七百五十回御遠忌法要メディア広報

広告協賛企業募集【内容一部変更】

このたび、教区・別院御遠忌法要の広報事業における協賛企業募集について、新潟日報紙上への社名掲載の協賛募集は取りやめることとなりました。

特集テレビ番組最後のエンドロールへの社名表示については、引き続き協賛を募集しておりますので、御門徒や寺院関係者の企業や団体等で広告協賛をいただける方がいらっしゃいましたら、何卒ご紹介くださいますようお願い申し上げます。

なお、ご紹介いただいた企業・団体には、改めて教務所から御依頼のご連絡をさせていただきます。

また、御協賛いただいた企業・団体には、代表者様を教区・別院御遠忌法要にご招待し、来賓接待をさせていただきます。

◆テレビ番組◆

NSTによる御遠忌特別番組「いのちの駒札 ～三条教区・三条別院宗祖親鸞聖人七百五十回御遠忌法要厳修～」を放映（2015年2月7日予定）するにあたり、提供社名及びエンドロールでの社名掲載を行います。

- ①協賛金 **30,000円** *30枠募集予定
・番組最後のエンドロールにて、ゴシック打ちの社名を表示します。
- ②募集締め切り 2014年12月末
(前号第88号に「2015年12月末」と誤って記載しておりました。お詫びし訂正いたします。)

■お問い合わせ 三条教務所【担当：菅谷（すがたに）】

〒955-0071 新潟県三条市本町2丁目1-57 / Tel : 0256-33-2805 / Fax : 0256-33-2847